

令和3年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

<b>教育目標</b>	「豊かな人間性と高い専門性を持ち、産業界の発展に寄与できる実践力のある工業技術者の育成」 (1) 校章「黒ゆり」に込められている、忍耐・協調・純真の気風を養うとともに、郷土を愛し地域社会の担い手となる気概を育成する。(2) 新しい時代を築くための変革に必要な、失敗を恐れない情熱と挑戦力を備え、目的を極めようとする人間を育成する。(3) 技能を身につける過程において、心・技・体を鍛える「匠のものづくり」を実践する。(4) 科学的根拠に基づいたものづくりを推進し、科学技術の進展や環境問題、エネルギー問題に柔軟に対応できる人間を育成する。(5) 健康と体力の増進に努め、感性豊かで、たくましく、心やさしい人間を育成する。
-------------	---

<b>重点目標</b>	『いのちをつなぐづくり』 <b>【生徒指導】</b> (1) 自分の存在や生き方を大切にしながら、他者のいのちや生き方を尊重する姿勢を育成する。(2) 「いじめ防止基本方針」に基づき、早期の予防・発見・対応に努め、いじめのない学校づくりを推進する。(3) 基本的生活習慣の確立と公共心やマナーを養い、社会の一員としての意識向上を図る。(4) 学級活動や生徒会活動・学校行事・ボランティア活動等に主体的に取り組む態度を育成する。(5) 部活動に積極的に取組ませ、豊かな人間性や連帯感、向上心等を育成する。(6) 生徒会「山工 NEXT VISION 100」を通して、伝統校としての誇りを持たせる。 <b>【学校保健・学校安全】</b> (7) 生徒の心身の状況を日常的に観察し、全職員が共通理解を持った指導を実践する。(8) 新型コロナウイルス対策「YAMAKO 7 RULES」を徹底し、感染防止に努める。(9) 教室や校舎内外の衛生環境を日常的に点検し、学習環境の整備・保全とその美化に努める。(10) インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた特別支援教育の充実を図る。(11) 生徒が安心して登校できる学校づくりに努め、出席率の向上並びに皆出席者数を増加させる。
	『学びを生かすづくり』 <b>【学習指導】</b> (12) ICT機器を活用した授業改善に努め、主体的・協働的な学びによる確かな学力を育成する。(13) 地域、企業、大学等と連携した「社会に開かれた教育課程」を実践し、専門性の深化を図る。(14) ものづくり大会や資格取得に積極的に取り組ませ、高度な工業技術・技能を習得させる。(15) 読書活動を推進し、読解力を育成する。 <b>【進路指導】</b> (16) 「キャリア教育実践プログラム」に基づき、勤労観・職業観を養い、主体的に進路を選択させる能力を育成する。(17) 高い進路目標を実現させるため、学年・学科・教科・進路指導部の連携を強化する。
	『地域をつくるづくり』(18) キャリア教育・SDGs・ボランティア活動等を通して、地域とつながる学校づくりを推進する。(19) 積極的な情報発信を進めるために、ホームページの充実に努める。(20) SDGs実現の取組みやグローバル教育を推進し、学校の活性化を図る。(山工元気プロジェクト・新竹高級工業職業学校との交流促進) (21) 学校に活力を与える部活動やものづくり活動の育成と支援を充実する。
	『その他』(22) 新教育課程と5学科体制への準備を円滑に進める。(23) 外部事務局（県高校長会工業部会、県高産連、県高校野球連盟等）業務を遅滞なく遂行する。(24) 校務支援システムを有効活用して校務の効率化を図り、働き方改革を推進する。(25) 教育公務員としての志を忘れず、自励心を持って行動する。(26) 職員間のコミュニケーションを大切に、働きやすい環境づくりに努める。

評価基準 「A」:達成(ほぼ当てはまる) 「B」:概ね達成(やや当てはまる) 「C」:やや不十分(やや当てはまらない) 「D」:不十分(ほとんど当てはまらない)
--

番号	自己評価			学校関係者評価		総括
	具体的方策と指標・基準等	目標達成状況及び達成に向けた取組み状況と分析	達成度	次年度に向けた改善等	意見・要望・評価等	
1	いのちをつなぐづくり	(1) 定期的アンケート等を利用した生徒の実態把握に努め、いじめ等の問題行動の未然防止に組織的に取り組む。【生指】	予定通り実施することができ、面談も実施した。	A	次年度以降も年2回実施すると共に学年団と部活動との連携を密にして未然防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「SNS上のトラブルに要注意」とありますように、今後も全体集会等での指導・教育等を宜しくお願いします。コロナ禍での、生徒・職員による生活環境保全と美化の徹底は大変素晴らしいことだと思います。また、生活環境の乱れは、心の乱れに繋がりますので、今後もこれらの活動の継続を希望します。</li> <li>・コロナ禍にあって周囲の生徒間でのコミュニケーションに不都合や閉塞感が生じていないか?について心配しておりました。新しい目標を掲げて、何事かにも熱中し、求められる結果にこだわる活動として「山工 NEXT VISION 100」のより一層の推進を期待します。感動と達成感を実現し、自己肯定感の高揚を多くの生徒達に求めたいと思います。</li> <li>・1月に行われた、PTA研修会は有意義なものであった。いじめ問題においても、本人、学校生活だけではなく、家庭環境が大きく影響していると感じる。PTAを対象にした講演会等を是非継続していただきたい。</li> </ul>
		(2) 自転車安全講話と自転車点検、情報端末機器の利用や公職選挙法等に関する講習会を実施し、マナーや公共心を養う。【生指】	安全講話に加え安全教室を実施したが、交通事故は多く交通マナーの悪さも指摘されている。またSNS上のトラブルに要注意である。	B	交通ルールの遵守とSNSとの付き合い方を学ばせるため、街頭指導、全体集会等を実施して指導を重ねていく。	
		(3) 学級活動や生徒会活動、学校行事では1人1役以上を担い、またボランティア活動にも3年間で1度は参加する。【生指】	コロナ禍で例年とは活動内容等が違っており、よくやり逃げしている。ボランティアは、コロナ禍の状況で可能なことを実施している。	A	ボランティアは、内容を精査し感染防止対策がとれる事を確認した上で人の為に役立つ経験を可能な限りさせる。	
		(4) 部活動に積極的に参加させ、全国大会出場50名以上を目指す。【生指】	新しい生活様式の中で積極的に活動し、優秀な成績を収めた。国体等全国大会中止が相次いだが出場は現在のべ31名である。	B	活動できる貴重さを実感させ積極的に有意義な時間を過ごさせる。顧問の連携を密にし有効に施設を使用する。	
		(5) 生徒会「山工 NEXT VISION 100」のもと、次の百年のスタートにふさわしい活動を展開させる。【生指】	新たなスタートを期し、校則見直しや自動販売機更新、山工祭など生徒達の想いを可能な限り実現するなど、成果を上げている。	A	校則見直し等で生徒自身が率先して課題に取り組むことで自主的な活動をさらに発展、継承させていく。	
		(6) 多様な健康課題を抱える生徒に対してSCによる面談とメンタルサポート委員会等を実施し、インクルーシブ教育システムの充実を図る。【保健】	新型コロナウイルス感染症や家庭における様々な問題や歪みなど生徒に及ぼす影響がより多様化している。学校としての対応の在り方を検討する必要がある。	A	今までに無い新型コロナウイルス感染症や家庭における様々な問題や歪みに悩んでいる生徒の状況を共有し、職員全体で検証する必要がある。	
		(7) 教室や校舎内外の衛生環境を点検して感染症予防の徹底を図り、学習環境の整備・保全と美化に努める。【保健】	生徒・職員による生活環境の保全と美化が日常より徹底され校内での感染者は確認されていない。感染性胃腸炎等の予防対策の周知徹底が必要である。	A	感染の波があるコロナ禍で生活していくうえで、日頃から継続した予防意識が重要である。校外での取り組みの徹底を呼び掛ける。	
2	学びを生かすづくり	(1) キャリア教育実践プログラムに基づいた3ヶ月プランを実行させ、職業観や勤労観を育むとともに、生涯にわたる多様なキャリア形成に必要な学びを身につけさせる。【進路】	計画に基づき、概ね実施することができた。特にインターンシップ、外部講師を招いての進路講話により、職業観や勤労観を育むことができた。	A	新学習指導要領に沿ったキャリア実践プログラムであるかの検証が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間にわたる長期的なキャリア教育実践プログラムを実施していることに敬意を表する。ただし、高校生の年齢では工夫しないとキャリア教育の意味(価値)を理解するのは難しく、就職先を決める段階でようやくその意味を知ることになると思われる。</li> <li>・ICT教育は工業高校の得意な分野になると思います。生徒の学びをどの様に評価するか今後求められると思います。</li> <li>・是非、若いうちに読書のおもしろさを知り、本を読む習慣を。また、新聞を読む習慣を身につけて欲しい。自分が興味がある資格において、積極的に挑戦していることがうかがえる。</li> <li>・地域、企業、大学との連携につけて今後も是非強化頂きたい。山形でもモノづくりにおける展示会や、企業や工業技術センター等でも研究発表が行われているので、そのような場所に参加することも良い刺激になると思う。</li> </ul>
		(2) 高大連携を密にし、大学の出張講義(2回/年)、卒論発表会等への参加により、科学技術や環境問題、エネルギー問題に、将来に活かせる専門知識を習得する。【進路】	山工工学部、理学部職員の出張講義(114名参加)、産技短との課題研究の連携等を通して高い技術、科学技術に関する知識を得ることができた。	A	生徒が興味関心を持って参加できる内容の選定、講師の人選に早い時期から取り組む。	
		(3) キャリア・パスポートやポートフォリオ機能を活用し、外部模試や行動の記録、振り返りを行い基礎学力を定着させ、高い進路実現に向け全職員で支援する。【進路】	サイネージを利用して、キャリア・パスポートの積極的活用を促した。チーム学校で小論、口頭試問、面接指導が行われ進路実現に繋ぐことができた。	B	外部模試や振り返りのためのポートフォリオ機能の在り方について検討が必要である。	
		(4) 各教科・学科でICT機器を活用した授業の研究を行い、年1回以上の研究授業と年2回の授業評価により、課題の抽出及び授業の改善につなげる【教務】	9/6~10の研究授業週間を中心に、12回の研究授業を実施し、ICT機器を利用した授業も実施された。授業評価指数は前期3.80後期3.79。(R02は前期3.81後期3.82)	B	新学習指導要領の実施に向けた、ICT機器を活用した授業展開の研究を更に推進し、授業の改善につなげていくようにする。	
		(5) 工業に関する高度な資格や検定等を取付し、実践力のある生徒の育成を図る【工業科】	放課後の講習や家庭学習の充実により、例年同様の結果を残すことができた。	A	定期考査や学校行事などを考え、効率よく資格試験に臨めるようにする。	
		(6) 課題研究や工場見学等、地域・企業・大学等と連携した学習活動を通して、専門性の深化を図る。【教務・工業科】	全校課題研究発表会は大視聴覚室からリモートで実施した。3年生の工場見学は1クラスを除き実施できた。先輩との進路説明会は好評であった。	A	コロナ禍の継続などを考え、企業・大学等の教育機関と連携した学習活動は適宜判断し、実施する。	
3	地域をつくるひとづくり	(1) 次の100年を見据えながら、学校・家庭・地域の連携協働により諸活動を推進する。【総務】	コロナ禍で活動が制限される中、春季マナーアップ、授業参観のウェブ開催親の気持ちを語る会、PTA職員研修会など可能な限り実施した。	B	薬師祭清掃ボランティアや花笠祭パレード参加など、コロナ禍で開催されていない活動も含め、例年通りの活動を実施していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも対策を講じながら色々な事業を行っている点に感心している。</li> <li>・山工元気プロジェクトは科の垣根を取り払って取り組まれており非常に興味深い取組である。また内容もわかりやすく、好評価を得ているのも理解できる。このプロジェクトに限らず、高校生の自由な発想を引き出し、多くの取り組みを行っていただきたい。</li> <li>・TVやラジオ、新聞等との連携により、SDGsやモノ作り等を通して地域と明確につながっている山工をこれ程強く感じた事はありませんでした。</li> </ul>
		(2) 大学・大学校や産業界との連携による工業教育の深化と活性化を図る【工業科】	全学科において、大学、大学校、企業との協働による課題研究を行い発表ができた。その他にも産技短教育連携は、中間報告、最終報告会(職員のみ)を開催できた。	A	産技短教育連携では生徒を交えた報告会を実施し、学習成果を發揮できるようにしたい。	
		(3) 活動的で魅力ある学校づくりとしてSDGsを意識した「山工元気プロジェクト」の着実な実行とその状況の情報発信を行う。【工業科】	「山工元気プロジェクト」は、全学科の協力・地域や企業の方のご支援、ご協力のもと実施できた。多くの関係者より好評をいただいた。	A	コロナ禍の影響もあるが姉妹校との定期的な交流を設定してみる。	
		(4) 県立図書館とも連携し、読書に興味をもたせ、図書館報や図書館だより(5回)を発行し、4(冊/年・人)以上を目指す。【図書情報】	図書館だより年7回発行。保育園読み聞かせボランティアは、全校ボランティア企画での紙箱寄贈に代替した。ピブリオバトル県大会には2名参加することができた。今年度は新入生オリエンテーションを実施し、昨年度比3倍の貸出(1年生)となった。全校貸出冊数(3.3冊/人)。	A	保育園読み聞かせボランティアの再開。各種イベントを企画するなど利用促進策を検討し、図書館利用者の増加を目指す。	
4	その他	(1) 新教育課程に向けた新学科の授業(実習)内容の検討および学習評価の円滑な実施に向けた取り組みを行う。【教務・工業科】	新教育課程に向けての学習内容の精選は順調にできた。学習評価についても講習会を実施し、共通理解を得ることができた。	A	評価基準などを検討し、逐次改善ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私はここ数年間、御校の学校評議員をさせて頂きましたが、本当に「いい学校」だと思います。先生方のご指導の結果が「いい学校」をつくるのだと思います。</li> <li>・GIGAスクールを経験した中学生が入学して来ます。学びの意欲が止まらない様に先生達も大変でしょうが、頑張ってください。</li> <li>・専用アプリについては使いやすいタイムリーな情報を得られるので良いツールと思う。普段の活動の様子なども、気軽にアップ頂いても良いのではないかと。</li> </ul>
		(2) 校務の効率化のため校務支援システムの活用を図る。【教務・教頭】	e教務の活用により、成績処理や出欠統計等の効率化を図ったが、システムの運用については利便性の面で課題が残った。	B	成績資料や出欠統計等、e教務の運用の仕方を検討・改善し、より校務の効率化を図る。	
		(3) 教職員の不祥事根絶の取組と同僚性のある職場環境づくりを推進する。【校内倫理委員会】	校長が主催する安全運転研修会を6月23日に、また、公金管理の中間点検として9月に実施した。綱紀粛正については、ことある毎に確認をした。	A	飲酒運転撲滅やハラスメントについてのチェックシートの活用を更に進め信頼される学校の実現に向けて取り組む。	
		(4) 中学生や家庭、地域に向けたHPによる情報発信を充実させるとともに、公式アプリ「山形工業高校」を活用し、迅速かつ確実な情報発信を目指す。【図書情報】	HPと専用アプリによる情報発信の拡充に努めた。これまで約150件掲載。生徒、保護者、職員向けの緊急連絡の提供を開始するなど活用している。	A	GIGAスクール構想に伴う生徒1人1台端末の整備。授業での活用促進を目指した職員研修の実施を企画していく。	